

第15章 まとめ

1. 調査結果の概要

(1) 緑被率——緑被率は0.33ポイント増加して22.17%

平成24年度調査では緑被率は22.17%であった。平成19年度調査と比較して0.33ポイントの増加であった。しかし農地は2.89ha減少(0.09ポイントの減少)であった。樹木被覆地は、開発等に伴う樹木被覆地の減少は確認されているが建築行為時の緑化指導、新たな公園整備や樹木の生長に伴い、全体では0.82haの増加であった。

(2) 樹木——樹木本数は1,331本増加して37,430本

樹木本数は区全体で37,430本が確認できた。平成19年度調査からは1,331本の増加であるが、直径40~50cm未満のものは821本減少している。樹木の生長等による新たな対象樹木の追加により全体本数は増加している。樹種別ではサクラ、ケヤキ、イチョウの順番は変わらないが、サクラは125本増加している一方で、ケヤキは72本の減少であった。

また、つる性樹木は116本が確認できた。

(3) 樹林——300㎡以上の樹林は979箇所、面積178.29ha

300㎡以上の樹木のまとまり(樹林)は979箇所、178.29haであった。樹林の約36%が公園の樹林で公的な樹林は全体の45.4%であった。社寺林や屋敷林などの私的樹林は全体の54.6%であった。平成19年度調査からは0.76haの増加であったが、箇所数は4箇所の減少であった。500㎡未満の小規模な樹林の減少が最も多く、47箇所、1.75haの減少であった。一方、1,000㎡~2,000㎡の樹林は35箇所、5.46haの増加であった。

(4) 接道部——接道部緑化率は24.76%

私道を含む区内の道路の接道部緑化率は24.76%で、平成19年度調査からは1.72ポイントの増加であった。接道部緑化のうち約62%が植込・植樹帯で、生垣は約18%であった。塀の設置等の今後緑化が可能な接道部は27.92%で、平成19年度調査からは2.95ポイントの減少であった。建物や出入口などにより緑化が困難な箇所は接道部全体の47.33%で、平成19年度調査からは1.22ポイントの増加であった。接道部緑化の増加の主な要因は緑化指導の効果によるものと考えられる。

(5) 道路内植栽——国道・都道の道路緑化率は高く、区道は低い

私道を除いた区全体の道路緑化率は、高木植栽では国道が35.8%、都道が60.7%、区道が3.0%であった。中・低木植栽では国道36.9%、都道27.3%、区道2.9%で

あった。

(6) 壁面緑化——壁面緑化は 1,138 箇所、面積 25,231 m²

壁面緑化は 1,138 箇所、25,231 m²で、緑のカーテンは 4,061 箇所、16,659 m²であった。平成 19 年度調査との比較では壁面緑化は 866 箇所、17,031 m²の増加であった。

(7) 屋上緑化——屋上緑化は 1,874 箇所、面積 70,984 m²

区全体の屋上緑化箇所は 1,874 箇所、面積 70,984 m²であった。平成 19 年度調査からは 992 箇所、35,969 m²の増加であった。新たな屋上緑化としては学校等の公共施設の他、大規模な集合住宅の建設に伴い整備されたものも多く、緑化指導の効果によるものと考えられる。

(8) 主要施設の緑化状況——調査対象の施設の緑化率は 30.47%

調査対象施設の緑化率は 30.47%であった。社寺境内地の緑化率が最も高く 50.24%で、次いで、大学が 40.54%であった。公共施設全体の緑化率は 24.48%で、平成 19 年度調査と比較すると区立小学校が 11.05 ポイントの増加であった。増加の主な要因は校庭芝生化であった。

(9) 緑視率——平均緑視率は 23.06%

区全体 70 箇所の平均緑視率は 23.06%であった。平成 19 年度調査からは 2.27 ポイントの増加であった。平成 19 年度調査では緑視率 5~15%の箇所が最も多かったが、平成 24 年度調査では 15~25%の箇所が最も多くなり、区全体として緑視率が上昇していた。結果の主な要因としては集合住宅の建築に伴う接道部緑化の整備や、樹木の生長に伴うものであった。

(10) 緑視域——緑視域率は 32.17%

緑視域率は 32.17%であった。緑視域面積が大きいゾーンでは、緑視域の対象となる高木が地域全体に分布していること、視界を遮るような高い建物が少ないことが挙げられる。最も緑視域率が高かったのは上井草ゾーンの 40.36%であった。

(11) 緑地——区全体の緑地面積は 579.91ha

区全体の緑地面積は 579.91ha で、都市施設とする緑地（公園緑地）が 116.99ha、制度上安定した緑地（法的に位置付けられた緑地等）が 124.35ha、社会通念上安定した緑地（社寺境内地等）が 70.76ha、その他の緑地が 267.81ha であった。緑地率は全体で 17.05%であった。

(12) みどり率調査——区全体のみどり率は 23.26%

みどり率は緑被率に公園内の緑で覆われていない面積と河川等の水面面積を加算した面積が区域面積に占める割合であり、区全体では 23.26%であった。前回調査からは 0.34 ポイントの増加であった。前回調査からの 5 年間に公園面積が約 9ha 増加しており、新たな公園の整備や緑被率も上がっていることからみどり率も増加した。

2. 区民意向調査結果を踏まえて

第 9 回目となる平成 24 年度のみどりの実態調査では、緑被率、樹木本数、接道部緑化率、緑視率等で増加がみられた。各調査項目において減少箇所は認められるものの増加箇所も多いため、全体としては区のみどりは増加したといえる。

増加の主な要因としては緑化指導制度の効果的な運用にあるといえる。本区では原則として全ての建築計画において緑化計画の提出が必要となっており、敷地規模等に合わせて緑化の指導が行われている。その提出件数も年々増加しており、周知が図られている。

一方、屋敷林や農地等の私有地の緑地の保全は、引き続き重要な課題である。樹林面積全体では大きな減少はなかったものの、小規模な樹林は減少している。また、農地についても減少傾向が続いている。各種制度の活用、新たな制度の検討等、よりよい状態で維持保全できる方策の検討が必要である。

平成 24 年 5 月に行われた「第 44 回杉並区区民意向調査 区政に関する意識と実態」の中で、「緑化について」の調査が行われた。みどりに関する調査結果は以下に示すとおりであった。

1. 生活環境の評価

自宅周辺の生活環境について聞いたところ、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い』は【生活環境全般】(91.3%)が最も高く、次いで【交通の便】(91.2%)、【緑の豊かさ】(85.5%)、【風紀】(85.3%)、【買い物の便】(84.2%)などの順になっている。一方、「あまり良くない」と「悪い」を合わせた『悪い』は【騒音や排気ガス】(35.4%)、次いで【交通の安全性】(31.8%)、【日常や災害時の安全性】(31.6%)、【建物のこみ具合・日当たり】(30.2%)、【みどりや水(河川等)とのふれあい】(24.9%)などの順になっている(図15-1)。

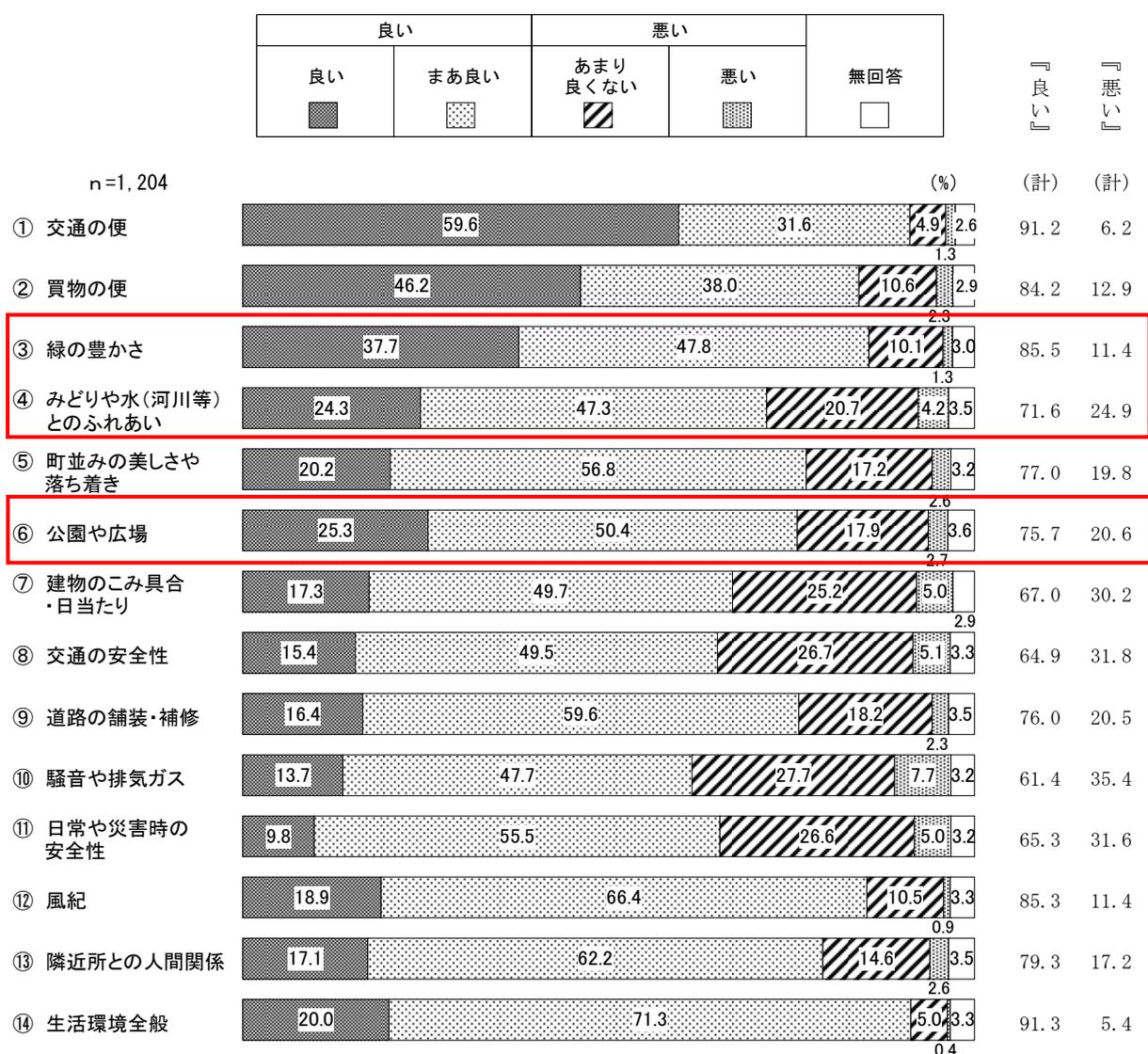


図15-1 生活環境の評価

2. 緑化指導の認知度

緑化指導という制度を知っているか聞いたところ、「知っている」(23.0%)は2割を超える程度、「知らない」(75.5%)は7割半ばを占めている(図15-2)。

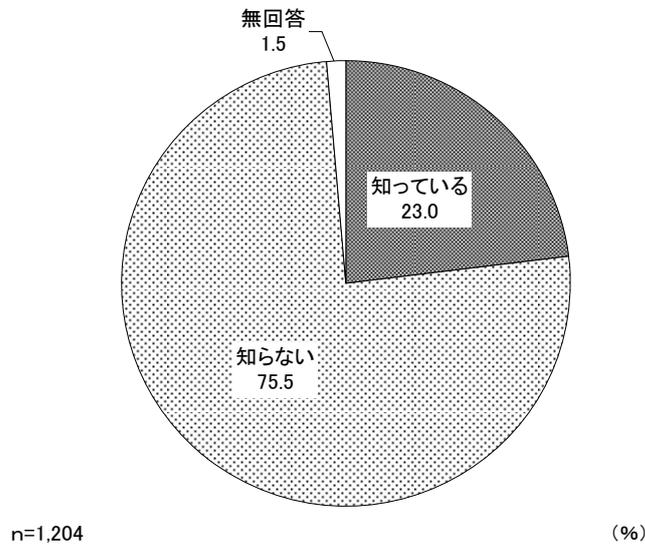


図15-2 緑化指導の認知度

3. 緑化指導のあり方で有効なもの

緑化指導のあり方で有効なものについて聞いたところ、「広い敷地の開発について緑化の義務を強化する」(34.1%)が3割半ば、次いで「敷地の広さにかかわらず緑化の義務を強化する」(29.5%)が3割、「小さな敷地の建築物について緑化の義務を強化する」(3.7%)はわずかとなっている。また、「わからない」(17.0%)は2割近く、「現在のままで良い」(13.9%)は1割を超えている(図15-3)。

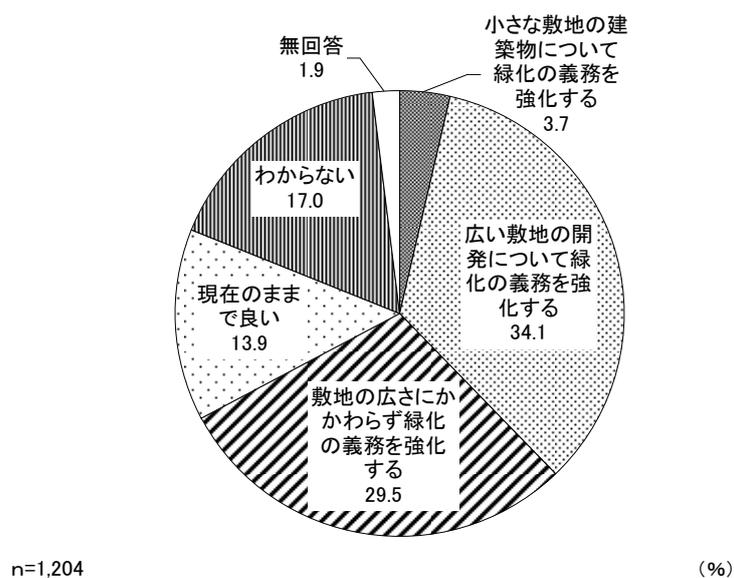


図15-3 緑化指導のあり方で有効なもの

4. 既存のみどりを守るために有効なもの

既存のみどりを守るために有効なものについて聞いたところ、「大木を保全するための移植費の助成」(47.8%)が5割近くと最も高く、次いで「伐採を禁止するような強制力のある制度」(30.9%)、「既存のみどりを守る代わりに緑化指導の基準を緩和する」(16.3%)、「新しいみどりを植えれば既存のみどりを守る必要はない」(4.9%)の順となっている(図15-4)。

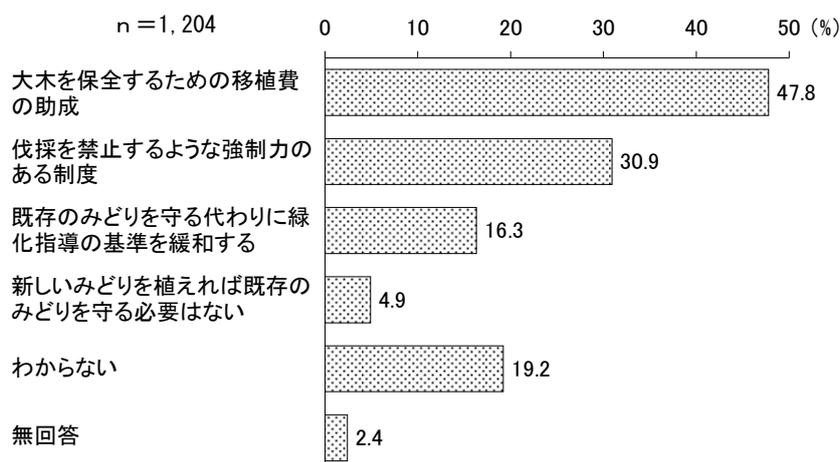


図15-4 既存のみどりを守るために有効なもの

5. 「みどりのベルトづくり」事業の認知度

「みどりのベルトづくり」事業を知っているか聞いたところ、「知らない」(89.7%)が9割近くを占め、「知っている」(9.1%)は1割未満となっている(図15-5)。

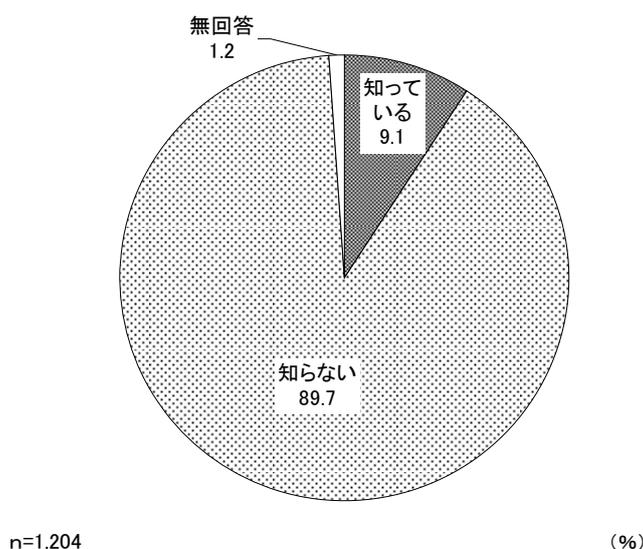


図15-5 「みどりのベルトづくり」事業の認知度

6. 杉並区の施策と要望

杉並区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「みどりと景観に配慮したまちづくり施策」(34.7%)が3割半ば、次いで「自転車駐車場の整備施策」(23.8%)、「子育て支援施策」(17.3%)、「公害・環境対策と省資源・リサイクル施策」(16.4%)などの順となっている(図15-6)。

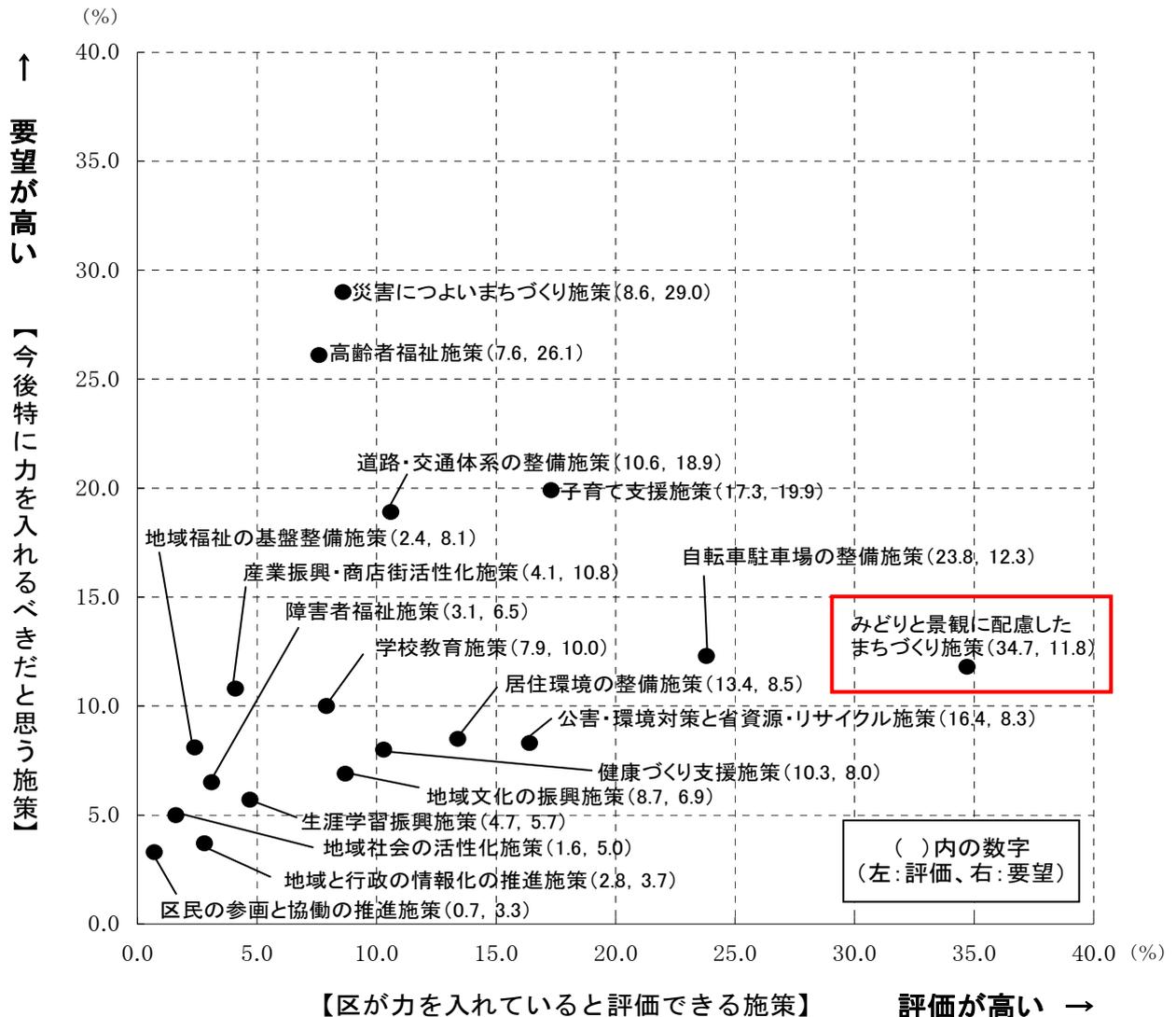


図15-6 杉並区の施策の評価と要望